

「茨城大学社会連携事業会・基盤強化委員会・理事会」開催

平成 21 年 4 月 28 日(火)、「茨城大学社会連携事業会」の「基盤強化委員会」と続いて「理事会」が開催、文理・人文学部同窓会関係関係では、野口同窓会長及び学年幹事・地頭所氏が両会合に参加されました。

基盤強化委員会においては、報告事項説明のあとの質疑応答において両氏を含めた学外委員から、当事業会のあり方、運営方法等他厳しい意見が出され今後検討して行くこととなりました。

また、理事会会議終了後、昨年度につづいて「学生地域参画プロジェクト」の内、「茨大生による地質を活かした地域貢献活動～ジオパーク設立を目指して～」 「光害対策プロジェクト＝暗い夜空を求めて＝」の2組の優秀プロジェクト受賞の内、 のプロジェクト内容と成果について学生によるプレゼンテーションを行が行われました。



左から3人目野口、4人目地頭所両氏



社会連携事業会理事会



理事会風景



「光害対策」について理学部学生の発表

なお、理事会には茨城大学と連携協定されている各自治体責任者等も多勢出席されました。当会の運営は学内外の皆さんからの会費及び寄付で賄われております。一人でも多くの方が茨大の地域との連携事業のサポーターとなって頂く事を願っております。 社会連携事業会HP

就職支援センター主催講演会で二馬氏講演

平成 21 年 5 月 27 日、創立60周年記念事業の一環として、茨城大学学生就職支援センター主催による特別講演会「OB からのメッセージ『“茨城大学”だからこそ求める人材とは?』」と題して、本会常任理事の二馬康昌氏が講演されました。

二馬氏は、現在三菱電機ビルテクノサービス(株)の人事部採用担当部長として今期もすでに1100人もの面接を終えたという、まさに現場の第一線からの講演で就職戦線に向かう後輩たちも食い入るように聞いていました。水戸の会場も満杯、また日立、阿見キャンパスにも VCS(ヴァーチャル・キャンパス・システム)により、配信され、

計 200 名余りとかって無い多数の学生が集まってくれました。

また、1時間の講演の後 30 分の Q & A に入った途端に次々に質問が飛び、質問し切れなかった学生の中には、終了後就職支援センター室のローカでずーと待っている学生まで・・と大変好評裏に終了致しました。



茨城大学創立 60 周年

平成 21 年 5 月 30 日、茨城大学創立 60 周年を記念し記念式典及び地域貢献シンポジウムが行われました。
茨城大学「大学憲章」の制定と 60 周年記念シンポジウムの開催

池田幸雄学長より創立 60 周年を記念し茨城大学憲章制定を披露。「今後も地域に信頼される大学として頑張るとともに、新しい茨城大学として脱皮し、いっそうの発展を目指していきます」旨の挨拶。

また、来賓の橋本昌茨城県知事からは、「教育面とともに、学術研究にも力を発揮してもらいたい」と期待をこめた挨拶がありました。

式典後開催された「地域貢献シンポジウム」では、「市民・社会との連携が創り出す新たな教育と研究」をテーマに、先端科学最新成果の地域社会への普及・還元や地域と連携した環境保全・地球温暖化対策研究や地域連携活動の成果を大学関係者が発表するとともに、地域の自然・歴史・文化を生かした教育活動や地域の教育的課題解決への取り組みへの参画について、学生や連携団体からの発表が行われ、地域に根ざした総合大学としての新たな大学創りの一歩にふさわしいシンポジウムとなりました。



キャンパスエイド活動の取組み ロビーでのパネル展示の様子

記念式典



橋本昌茨城県知事の祝辞



大学憲章を読み上げる池田幸雄学長



地域貢献シンポジウム



茨城大学バイオ燃料プロジェクト(I B O S)



茨城大学地質情報活用プロジェクト